

# なよろ



名寄市観光キャラクター  
「なよろ」



## 目次

○ 定例会で決まったこと	2
○ 議決結果・意見書	3
○ 代表質問・議会日誌・議員協議会	4～5
○ 一般質問に9人・議会運営委員会活動報告	6～10
○ 予算審査特別委員会の概要・総括質疑	11～12
○ 各常任委員会活動報告	13～15
○ きぼう・編集後記	16

令和3年  
第1回定例会

第60号

令和3年5月1日  
発行

令和3年 第1回定例会 2月22日～3月22日

▽一般会計総額213億円超の令和3年度予算案を可決。  
 ▽施設サービスの増などにより、4月から保険料基準額（月額）は、6222円の引き上げ。  
 ▽新型コロナ対策などを盛り込んだ、補正予算案を可決。

令和3年第1回定例会は、2月22日～3月22日までの9日間で開会。開会初日には、加藤市長から市政執行方針が、小野教育長から教育行政執行方針が述べられました。議案審議では、「名寄市介護保険条例の一部改正について」を委員付託し、委員長報告のとおり原案可決するなど、条例案6件、補正予算案10件、令和3年度予算案9件、人事案件1件を原案のとおり可決・同意しました。8日から10日は、各会派を代表した議員による代表質問と一般質問が行われ、11名の議員が市政執行方針などについて、理事者の見解をいただきました。また令和3年度予算案については、全議員による予算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

条例の改正

☆名寄市子ども発達支援センター条例の一部改正について

子ども発達支援センターへの通所が難しい子ども、保育所などで専門的な支援を受けられるよう、保育所等訪問支援事業を実施するため、条例の一部を改正しました。

☆名寄市介護保険条例の一部改正について

介護保険法に基づき策定する介護保険事業計画で、高齢者人口・要介護（要支援）認定者数の増加、介護施設の開設に伴う介護サービス給付費の増加などが見込まれ、令和3年度から令和5年度までの第1号被保険者（65歳以上）

の介護保険料を改定する必要があるため、条例の一部を改正しました。

なお保険料基準額は、年額6万2700円から7万1000円に引き上げられます。

主な補正予算

【一般会計】

☆商店街等活性化関連補助金

名寄市中小企業振興条例に基づき補助事業（店舗の改築などへの支援）の拡充・緩和策を継続することにより、新型コロナウイルスで厳しい経営が続く中小企業の積極的な投資を後押しするため、2660万円を追加しました。

☆売上減少事業者支援給付金給付事業費

新型コロナウイルス感染症の長期化により、売り上げが減少している市内の中小企業などに最大で20万円を給付するため、6031万5千円を追加しました。

なお名寄市経営維持支援給付金を受給した事業者を除くほか、比較対象月と比べて30%以上減などが条件となります。

☆新型コロナウイルススワクチン接種体制確保事業費臨時補助金

コールセンター委託料、医師・看護師派遣委託料など、新型コロナウイルススワクチン接種に係る経費として、8023万2千円を追加しました。

【名寄市立大学特別会計】

☆教材・教具等整備事業費

引き続き感染対策を十分に講じながら、コロナ禍での遠隔授業に加え、対面授業の実施に必要な備品などを購入するため、862万8千円を追加しました。

人事案件

◆名寄市教育委員会委員

中 枝 範 子氏（再任）

名寄市西3条南6丁目

臨時会を開きました

令和3年第1回臨時会が1月27日に開催され、名寄市企業版ふるさと納税基金条例の制定など、2件の議案について審議し、原案のとおり可決しました。

### 令和3年 第1回臨時会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	名寄市企業版ふるさと納税基金条例の制定について	原案可決
議案第2号	令和2年度名寄市一般会計補正予算(第11号)	原案可決

### 《賛否の分かれた議案》

※○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席)

議案番号	件名	議員名	市民ネット					市政クラブ					議	公	共					
			富岡達彦	倉澤宏	山崎真由美	佐久間誠	佐藤靖	高野美枝子	三浦勝秀	今村芳彦	五十嵐千絵	遠藤隆男				清水一夫	塩田昌彦	東川孝義	山田典幸	黒井徹
議案第1号	名寄市企業版ふるさと納税基金条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※公(公明) 共(日本共産党) 議(議長) ※議長は表決に加わりません。

### 令和3年 第1回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	名寄市子ども発達支援センター条例の一部改正について	原案可決
議案第2号	名寄市介護保険条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	名寄市高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	令和2年度名寄市一般会計補正予算(第12号)	原案可決
議案第5号	令和2年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第6号	令和2年度名寄市介護保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第7号	令和2年度名寄市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第8号	令和2年度名寄市立大学特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第9号	令和2年度名寄市病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第10号	令和2年度名寄市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第11号	令和2年度名寄市下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第12号	令和3年度名寄市一般会計予算	原案可決
議案第13号	令和3年度名寄市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第14号	令和3年度名寄市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第15号	令和3年度名寄市食肉センター事業特別会計予算	原案可決
議案第16号	令和3年度名寄市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第17号	令和3年度名寄市立大学特別会計予算	原案可決
議案第18号	令和3年度名寄市病院事業会計予算	原案可決
議案第19号	令和3年度名寄市水道事業会計予算	原案可決
議案第20号	令和3年度名寄市下水道事業会計予算	原案可決
議案第21号	名寄市教育委員会委員の任命について	同意
議案第22号	令和2年度名寄市一般会計補正予算(第13号)	原案可決
議案第23号	名寄市事務分掌条例の一部改正について	原案可決
議案第24号	名寄市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第25号	名寄市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第26号	令和2年度名寄市一般会計補正予算(第14号)	原案可決
議案第27号	名寄市議会会議規則の一部改正について	原案可決

### 《賛否の分かれた議案》

※○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席)

議案番号	件名	議員名	市民ネット					市政クラブ					議	公	共					
			富岡達彦	倉澤宏	山崎真由美	佐久間誠	佐藤靖	高野美枝子	三浦勝秀	今村芳彦	五十嵐千絵	遠藤隆男				清水一夫	塩田昌彦	東川孝義	山田典幸	黒井徹
議案第2号	名寄市介護保険条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第12号	令和3年度名寄市一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第13号	令和3年度名寄市国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第14号	令和3年度名寄市介護保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※公(公明) 共(日本共産党) 議(議長) ※議長は表決に加わりません。

## 第1回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

- ◎国民健康保険料の子ども均等割減免の拡充に関する意見書
- ◎少人数教育の早期推進に関する意見書
- ◎選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書
- ◎GIGAスクール構想に対応する子どもの健康管理などの意見書

加藤市政3期目最終年度に向けて



市政クラブ

山田 幸 議員

**問** 令和3年度の市政執行について市長任期3期目の最終年度を迎えるにあたり、3年間の評価と今後の市政運営とまちづくりに対する基本的な考え方について伺う。

**答** 総合計画の基本理念である「人づくり」「暮らしづくり」「元気づくり」のために使命感を持って努力してきた。残り任期も思いは変わらず、全力で走り続けたい。名寄市が道北地域を守る大きな役割を担うことに誇りを持ち、発展していくためには総合計画の具現化が重要と考えている。  
**問** 新しい生活様式や価値観の変化など、アフターコロナ社会を見据えた施策展開が求められると思うが考えを伺う。  
**答** デジタル・新技術の推進は積極的に取り組まなければならない課題。情報インフラを

いかに有効活用していくかが重要であり、行政サービスの質の向上や新たなサービスの提供などの実現に向けて、関係機関との情報共有や連携を深めていきたい。

**問** 産業振興と経済活性化施策  
**答** 名寄市観光振興計画が新年度に最終年度を迎え、次期計画の策定が進められる事となるが、次期計画策定に向けての考え方について伺う。

**答** 現行計画の成果を検証し、ウィズコロナ、アフターコロナの時代の観光のあり方として注目されている、マイクروتourリズムやワーケーションなどの動きを的確にとらえるとともに、本市の地方創生総合



名寄市総合計画の3つの基本理念 (名寄市総合計画ダイジェスト版より)

戦略に掲げるスポーツツーリズムに沿うなど、名寄市にふさわしい観光施策を進めるための方向性と新たな指標を示したいと考えている。  
**問** 新年度に耐力度調査を実施する名寄中、名寄東中の施設整備や再編を含む将来の学校のあり方について考えを伺う。

**答** 10年先を見据え小中一貫教育、コミュニティスクールの充実に一丸となって取り組んでいる。財政的視点だけでなく、改築の時期・場所などは生徒一人一人に行き届く教育環境はいかにあるべきかを中心に考えて対応することが大事であると考えている。  
**他の質問** 保健・医療・福祉行政について、名寄市立大学将来構想にかかわってほか

議会日誌 2~4月

- 2/9 総務文教常任委員会  
市民福祉常任委員会
- 2/10 議会運営委員会  
経済建設常任委員会
- 2/15 各会派代表者会議
- 2/18 経済建設常任委員会
- 2/19 議会運営委員会  
議会報特別委員会

- 2/22 令和3年第1回定例会開会  
予算審査特別委員会  
議員協議会
- 2/25 市民福祉常任委員会  
経済建設常任委員会
- 3/4 市民福祉常任委員会  
経済建設常任委員会
- 3/8 議会運営委員会
- 3/9 総務文教常任委員会
- 3/11 市民福祉常任委員会

- 3/16 予算審査特別委員会  
(~17日、19日、22日)
- 3/19 議会運営委員会
- 3/22 令和3年第1回定例会閉会
- 3/23 総務文教常任委員会  
議会報特別委員会
- 4/14 市民福祉常任委員会
- 4/15 議会運営委員会
- 4/20 経済建設常任委員会
- 4/27 議会運営委員会
- 4/28

新年度の取り組み姿勢を問う



市民ネット

佐藤

靖 議員

**問** 3期11年間でどう捉える

**答** 民間社会的発想の市役所づくりなど、様々な施策を展開しているが、一方ではこれまでにない不祥事も発生し、市民の信頼が薄れる状況にもある。3期目の最終年度を迎え、これまでの11年間でどう総括しているのか。

**答** これまでの総括については、現在の総合計画で主要施策ごとにKPIを設定しており、進捗の度合いが物差しの一つになる。不祥事については、深く反省している。残る任期1年は、全力で市政運営にまい進したい。

**執行方針は総花的**

**問** 市長、教育長とも任期最終年度を迎えたが、市政執行方針および教育行政執行方針

とも総花的で、目指す具体的な方向性が伝わってこない。限られた任期で何を指すのか。

**答** 総合計画の施策展開、感染症対策やアフターコロナ社会への対応、王子マテリア名寄工場の生産品集約による影響も最小限にとどめるため、今後、写真を具体的に示せるよう努力する。

**答** 教育委員会においてはICT環境、市内2高校のあり方、老朽化の著しい児童センター、市立図書館について機能、複合化を含め議論を進める。

**派遣職員受け入れの危惧**

**問** 最近、民間人材の派遣受け入れ、登用が続いているが、派遣元企業との利益相反、守秘義務の取り扱いは、

**答** 人材の受け入れに際して

は、包括的な政策連携協定を結び、個別に派遣協定などで守秘義務なども定めている。また派遣を受けた人材は、入札など利益相反や公平性に懸念を持たれる業務には従事させていない。

**既存事業の見直し必要**

**問** 敬老事業、除排雪、分庁方式、名寄市立総合病院整備基金などについても見直しを含め、一定方向を導くべき。

**答** 町内会などと検討を進める。庁舎は当面、現方式とする。整備基金は、一般会計の負担を継続する。

**他の質問** 中学校施設整備事業、政策決定プロセス、地域

コミュニティ、開業医誘致、名寄高校駅、高齢者施策



名寄中学校とともに、3年度に耐力度調査が計画されている名寄東中学校

議員協議会

2月22日の本会議終了後、議員協議会が開催され、2つの案件について説明を受けました。

名寄市公共施設個別施設計画の素案では、この計画は施設の状況を踏まえ、計画的な改修による長寿命化を目的とするとともに、効率的かつ効果的な施設の統廃合、適正配置を計画するものである。また総量縮減に向けた数値目標として、令和17年度までに総延床面積を13%削減するなど公共施設の基本的な考え方について説明を受けました。

新型コロナウイルス感染症対策では、ワクチンの接種に向けた「ワクチン接種対策チーム」の設置や、接種に関する準備状況などについて説明を受けました。



2月22日開催の議員協議会



生きる力を育む教育に向けて

市民ネット 山崎 真由美 議員

GI-GAスクール構想の状況

**問** 児童生徒一人一台端末の整備状況と、運用に当たっての対応は。

**答** 令和2年度に整備予定の1883台は納入されており今後各学校に応じたネットワークの設定後、3月中旬に配布する予定。運用に当たっては「名寄市小中学校教育情報セキュリティガイドライン」を策定しており、その中で、情報機器運用基準、校務用端末運用ガイドライン、ネットワーク活用に関する個人情報保護ガイドラインなどを定め、運用していく。

新しい学習環境の中、個の特性を活かし、一人ひとりに応じたきめ細かい指導を実践するための施策は。

**答** 個に応じた豊かな教育の実現のため、各学校の実情に応じ、特別支援教育学習支援員



一人に一台整備された端末と充電保管庫

を配置してきた。市独自で採用する教職員の配置は困難であるが、国や道教委が行う加配や派遣事業での配置などに取り組んでいく。

地域運動部活動への考えは

**問** 生徒の活動欲求を満たし、学校教職員の働き方改革にもつながる地域運動部活動の実現に向けた考え方は。

**答** 国からも部活動改革の具体的な方策が示されたが、本市では、今後多くの課題を整理する必要がある、研究する。**他の質問** まち・ひと・しごと創生総合戦略についてほか



安心して暮らせるまちづくり

市政クラブ 遠藤 隆男 議員

高齢者福祉について

**問** 高齢者への支援体制整備の進め方について考えを伺う。

**答** 生活支援体制の整備では、訪問型・通所型・その他の生活支援サービスなどの実施やサービス主体間との情報共有・連携を図る。また介護サービス基盤整備では、介護サービスの向上・提供の適正化を図る。喫緊の課題である介護人材の確保・育成では、介護を必要とする高齢者の増加に対応できるように国・道との連携を図る。高齢者の住まいでは、新たな低所得者の高齢者向けの住まいについて検討を進める。今後も高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、生きがいを持って安心して暮らせるまちを目指す取り組みをさらに推進していく。

外出支援・移送支援サービス対象外の方への介護保険サービス以外のサービス・支援について考えを伺う。

**答** すべての高齢者を対象とした移送支援サービスについては、人的・財政的に厳しいと考えるが、地域的な問題や経済的な問題などによって、通院や買い物などの外出が困難になってくる場合には、その都度、相談を受けながら、必要な支援につなげるよう努めていく。



「住み慣れた地域で住み続けられる」支援・取り組みを

**他の質問** 健康づくりと介護予防・地域包括ケア・ICTネットワーク、地域農業総括と新年度の実証試験・人手確保対策について

## 一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



### アフターコロナを見据えて

市政クラブ 今村 芳彦 議員

**問** 名寄市の新たな取り組みは

コロナ禍においても、中小企業振興条例に基づく店舗支援事業などを活用し、積極的な投資があった。当該事業の利用実績と効果は。

**答** 昨年6月に条例施行規則を一部改正し、補助基準の拡充・緩和を行ったことで、多くの市内事業者を利用していただいた。感染症防止対策に係る改修が多いことから、予防対策が着実に進み、経営意欲の向上と雇用の維持に寄与するほか、市内の施工業者からも高い評価を得ている。

**問** 名寄高校駅の設置に伴う各種計画の見直しは。

**答** 総合計画中期実施計画の見直しの中で、名寄高校駅設置事業を、計画の具現化へ向け取り組む事業として位置付けた。



駅の設置に伴い、さらなる高校の魅力向上へ

生徒に大切にされる駅となるよう、高校と連携していきたい。

**問** 農業の新たな局面を迎えて

国のコロナウイルス感染症対策支援事業の実施傾向と、農業施策との関連は。

**答** 国の経営継続補助金で、ドローンや自動操舵装置などが導入され、人手不足や規模拡大の現状に沿う活用がされたとみている。今後も農業者のニーズを把握するとともに、国の支援制度の情報収集に努め、農業施策に反映したい。

**他の質問** 企業版ふるさと納税について、有害鳥獣対策について、土壌診断について



### 医療、教育、農業を問う

市民ネット 佐久間 誠 議員

**問** 地域医療とコロナ対応

コロナ感染症ワクチンの接種が始まるが、副反応について伺う。

**答** 治療を要したり、障がいが残るほどの副反応は極めてまれだが、ゼロではない。国内治験では、接種部の痛みが約80%、発熱が約33%、疲労・倦怠感が約60%の方に見られたとの報告があるが、メリツトが大きいことから接種を勧めている。

**問** 本市と近隣自治体におけるコロナ病床の確保とエクモ使用時の医療従事者の現状は。

**答** コロナ感染症に対応する病床数は、北海道知事のもと、総合調整が行われている。エクモは循環器疾患等の手術の際、複数の職種でチームを組んで稼働させており、エクモ稼働が即、看護体制に影響を及ぼすものではない。

**問** 中学校の配置計画は老朽化した名寄中学校と

名寄東中学校の学校施設の在り方と配置について伺う。

**答** 施設の老朽化が激しいことから、令和3年度、2校の耐力度調査を実施し、整備の方向性を検討していく。

**問** 大学院構想と学生寮について

**答** 大学院のイメージは、現在の保健福祉学部を基盤にした上に、一つの研究科を置く2年間の修士課程を想定している。

**問** 学生寮改築時には、街なかへの移動も考えられるのか。

**答** 昨年の寮生へのアンケートでは、9割以上が現在の場所か、より大学に近い場所が良いとの回答だった。

**他の質問**

農業振興、労働力不足、食育、6次産業化ほか



期待されるワクチンでの感染抑制



## 名寄市の幼児教育

市政クラブ 塩田昌彦 議員

**子ども・子育てについて**

**問** 未就学児童の保育・教育の現状について。

**答** 令和元年10月から3歳以上児の無償化が始まったが、それ以前から施設利用者は100%に近い状況。3歳未満児の待機児童は、令和2年4月当初8名だったが、同年5月に解消され、今年1月時点でも待機児童はゼロとなっている。

**問** 今後における保育所の再配置について。

**答** 現在、南保育所の建て替えに伴う基本計画を策定中だが、令和3年度中に西か東保育所のどちらを閉所するかの方向性を出す。また近年の出生数の減少から、令和7年度以降に未就学児童の減少が想定されるが、私立の幼児教育・保育施設が3歳以上児の保育ニーズに概ね対応できることとなったため、南保育所改修後は、公立保育所の3歳以上

児の定員を減員し、3歳未満児の保育を充足する方向としており、再編後の保育所は、3歳未満児を対象とした施設として改修する。

**経済対策について**

**問** 仮称「名寄市商工業振興基本計画」の策定状況と地域経済の活性化に向けて。

**答** 商工業振興に係る基本的な理念や役割などを定める基本計画については、現在、名寄市中小企業振興審議会に諮問し、検討部会で審議中だが、新型コロナウイルスの影響から遅れており、本年秋を目途に策定する。地域経済の活性化に向けて、官公需の影響は大きいものがあり、

予算の確保や発注の平準化を内部で検討したい。



建て替え対象施設の南保育所



## ふるさと納税について

市政クラブ 三浦勝秀 議員

**令和2年度事業実績について**

**問** ふるさと納税寄附金の令和2年度の寄附状況について。

**答** 現在も受け付け中であるが、寄附件数は概ね2850件で金額は5200万円と増加する見込み。

**問** 寄附金額の変更の影響と道の駅を活用した取り組みについて伺う。

**答** 総務省の通知通り経費を5割以下にするために寄附単価を引き上げる形で対応した結果、寄附件数については減少する見込み。新たな取り組みとして道の駅との連携を開始し、今後も活用していた、できるように取り組みを進める。

**問** 寄附金額の増加要因は。

**答** 本市の人気返礼品となっている農産品の申込受付開始時期を早めたことと、定期便形式の返礼品を追加したことが大きな要因だと考える。

**問** 自治体と寄附者との継続



ふるさと納税の活用を

**答** リピーターの確保は重要な要素と考えており、担当課と協議しながら報告内容の充実にも努める。次年度に向けては、新たに2つの専用サイトを追加し返礼品の精査や寄附者の利便性向上を目指し、名寄市のPRに繋がられるように取り組みを進めていく。

**他の質問** 地域経済について

## 一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



### 未来につなぐ森林林業と鉄道

市民ネット 富岡達彦 議員

#### 森林林業施策にかかわって

**問** 森林整備計画の、地域特性を考慮した持続可能な民有林の姿について、公益的機能に着目したブランドデザインをどのように描くのか。

**答** 公益的機能に着目しながらゾーニングを図るとともに、適正な森林保全の基本方針と基準を示している。

**問** 今年度の森林環境譲与税の実績と評価を伺う。

**答** 譲与税額2448万9千円に対して、執行見込み額は1368万9千円で、間伐・下刈り・枝打ちなどの育林保育に活用。残額は基金へ。

**問** 林業現場の担い手確保と受け皿づくりについて伺う。

**答** 譲与税を活用し、林業事業体就業支援助成金や林業従事者資格等取得支援事業などの助成制度を創設している。

**問** 適地適木適作業を駆使した、公益的機能林の生態系管理で、「恒続林施策」に取り組む考え方について伺う。

**答** 国や道の森林施策計画に



持続可能な森林管理は、木を見て森もみる

準じ、国の公的補助を活用して、公益的機能林施策を実施。恒続林の考えは現時点でない。

#### 宗谷本線維持存続について

**問** 国交省から10年間のJR北海道支援延長策が出された道に対する評価と、JR北海道の「経営の上下分離」、「オーブンアクセス拡大」を視野に入れた、宗谷本線維持存続について市長の考えを伺う。

**答** 国から大きな支援を引き出した北海道の努力を評価する。また沿線自治体のアクションプランなどの取り組みも認められた。上下分離とオープンアクセスについては即答できないが、沿線自治体も努力をしながら宗谷本線の存続を求めている。



### 公営住宅の保証人の廃止を

公明 高橋伸典 議員

#### 行き場を失う恐れを回避

**問** 国土交通省の通知から、保証人を確保できずに入居できないという事態を生じさせないために、廃止の考えは。

**答** 公営住宅入居の手続き状況、家賃・使用料の債務保証、滞納抑止、緊急連絡など、多くの役割を果たしていることから、連帯保証人制度を継続することとしている。一方で

単身高齢者の増加など、社会情勢を踏まえ、令和2年4月に名寄市営住宅管理条例の一部を改正し、生活保護者などの公の扶助を受けるなど、やむを得ない場合に加えて、65歳以上の年金生活者に対し、緊急連絡先による対応など、連帯保証人の保証人要件を緩和してきた。連帯保証人の負担を軽減させるため「限度額」を設定するほか、2カ月分滞納した時点で、入居者に対し、納付指導を行っている。

#### 人口減少への対策は

**問** 高齢人口・関係人口創出に向けた、テレワークの推進についての取り組みと考えは。

**答** テレワークについては、感染の影響で都市圏を中心に普及しているが、月に数回程度の出勤を義務付けている事業所が多いため、移動コストを考慮し、都市圏近郊の需要が高い。本市のテレワーク環境は、WiFiが整備されている公共施設などを想定しており、仕事だけでなく、自然の魅力を生かすバケーションをセットにしたワーケーションでの受け入れを進める。

#### 他の質問

安全安心な除排雪体制について、生活困窮者へ緊急支援を



生活保護者・年金生活者は緊急連絡先で対応



## コロナ禍での支援の充実を

日本共産党 川村幸栄 議員

たいと考えている。

### 公営住宅の空き室を有効に

**問** 産前・産後の家事サポートをコロナ禍で、里帰り出産や親の援助が受けられずに不安を抱えている妊産婦への産前・産後の日常の家事サポートで「産後うつ」の防止や虐待防止につながるかと考えるが、

**答** 母子健康手帳交付時の転勤者割合が約5割で、身近に親の援助を受けにくい状況が懸念されている。妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援の充実に努めている。産前・産後の日常的な家事サポートは重要な支援の一つ。支援が必要と判断した場合は、子ども家庭支援員や家庭児童相談員などが家事援助を行っている。

**問** 潜在看護師、保育士、栄養士等の活用で妊産婦支援を。短時間の対応で、資格や知識を活かしてもらう考えは。

**答** 地域における貴重な人材であり、行政の様々な施策でその能力を活用させてもらい

### 公営住宅の建て替え事業

**問** 計画が進んでいるが、空き室も多い状況にある。大学生への貸し出し、お試し移住での利用、コロナ対応の在宅勤務者への貸し出しなど目的外使用についての考えは。

**答** 今年2月末での入居率は約82%。高齢単身者の入居要件などを緩和している。市営住宅の目的外使用の可能性を検討したい。

### 他の質問

環境衛生にかかわって



令和3年度改修工事が予定されている栄町55団地

## 議会改革について

現在、議会運営委員会では、議会改革に取り組んでいます。が、名寄市議会基本条例を検証し、課題を整理した上で、協議を行っています。

昨年実施しました「名寄市議会に関する市民アンケート」の結果につきましては、本年1月発行の議会だより増刊号にて報告させていただきました。市民の皆さまからいただいた貴重なご意見を参考に、協議を重ねております。

議会改革の優先検討項目である、次期議員定数の考え方では、関連する常任委員会などの機能強化についての議論も含め、総合的に協議を行っています。

なお議会運営委員会で議会改革について協議を進める中で、既に協議を終えた簡易表決と携帯品の取り扱いについては、第1回定例会において、名寄市議会会議規則を一部改正し、見直しを行いました。

## 議会運営委員会活動報告

令和3年第1回定例会の日程、議事運営などを協議するため、1月20日から3月19日までの間、委員会を7回開催しました。

2月19日の委員会では、会期を2月22日から3月22日までの29日間とすること、代表質問・一般質問は3月8日から10日の3日間とし、11名の議員が登壇することを確認しました。また定例会初日の上程議案は、名寄市子ども発達支援センター条例の一部改正についてなど21件で、議案第2号の名寄市介護保険条例の一部改正については市民福祉常任委員会に付託し、議案第12号令和3年度名寄市一般会計予算のほか5特別会計予算と3事業会計予算については、全議員で構成する予算審査特別委員会に付託して、審査することとしました。

3月19日の委員会では、付託された議案第2号に係る委員長報告と定例会最終日の追加議案である名寄市事務分掌条例の一部改正についてほか4件の審議を行うことを確認しました。

令和3年度予算審査特別委員会

全会計461億7675万円を可決

第1回定例会において、令和3年度の各会計予算について、全議員で構成する予算審査特別委員会（高野美枝子委員長・遠藤隆男副委員長）を設置し、付託された予算案を審査しました。

市の令和3年度予算は、一般会計で前年度比2・2%増の213億7181万1千円、国民健康保険特別会計ほか4特別会計で前年度比0・1%減の86億2980万円となり、企業会計を含む全会計の総額は、前年度比1・6%増の461億7675万円となりました。

3月16日から17日、19日、22日の4日間で実質審議を行い、最初に各会派の代表による各会計全般に関する総括質疑および委員による質疑が行われ、男女共同参画の取り組み、空き家対策、子育て支援に関する施策、農業・観光に関する施策、除排雪事業、防



高野美枝子委員長(左)と遠藤隆男副委員長(右)

災対策、教育、市立大学に関することや病院事業など、さまざまな案件について慎重に審査を行いました。  
審査の結果、一般会計、国民健康保険特別会計および介護保険特別会計については賛成多数により、その他の特別会計および事業会計は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定し、3月22日の本会議で委員長報告を行いました。

予算審査特別委員会での質疑の一部を掲載します

情報化推進事業費

**問** 携帯電話が繋がらない地域の解消に向けた取り組みは。

**答** 衛星回線アンテナが設置され、今年3月から電波の発信が始まるなど、少しずつだが解消に努めている。光ファイバーが敷設されると、難聴地区解消に向けた状況が大きく変わるので、今後とも取り組みを進める。

こどもの遊び場整備事業費

**問** 施設の天井の高さから、小学校低学年までの利用を想定しているのか。

**答** 天井は高くないが、跳んだり、はねたりできる遊具が好まれているので、プロポールの中で求めていく。利用の対象は、3歳以上の未就学児から小学校4年生までと考えている。

ドーリンスク市友好都市交流事業費

**問** ロシア国サハリン州ドーリンスク市との友好都市提携30周年の取り組み内容は。

**答** 名寄・ドーリンスク友好委員会を中心に実行委員会を組織し、訪問団の派遣、記念誌の発刊などの各種記念事業を計画しているが、詳細は令和3年度に入ってから、実行委員会で協議していく。

就学援助費

**問** 新型コロナの影響でICT化が進む中、通信環境が整っていない家庭に対する支援は。

**答** 端末を活用した家庭学習は、現状考えていないが、新年度に学校が長期休業になった場合は、学習内容を保存したUSBメモリと端末を一緒に貸し出し、家庭学習をしてもらうことを考えている

総括質疑



安定した財政運営を

市政クラブ 東川孝義 委員

歳入・歳出の考え方は

**問** 令和3年度一般会計予算は、前年度比2.2%増となった一方で、市税が8900万円の減、地方交付税が1億7000万円増となった要因は。経常収支比率が年々上昇しており、要因分析は。基金取り崩しの考え方と自主財源確保の対策は。

**答** 新年度の市税収入は、市民税で法人市民税の税率の引き下げ、固定資産税で3年に1度の評価替えなどにより、前年比3%減となった。交付税の増は、国による地方財政対策費の伸びにより増となった。基金については、社会福祉施策経費の増額や公共施設の老朽化対策などで、基金に依存した財政運営が続くが、取り崩しを最小限に抑えた事業費の積算、特定財源の確保に努め、効率的、効果的な基金の活用を考えていく。

新しい生活様式への対応は

**問** 新型コロナウイルス感染症対策の実施効果と新しい生活様式を見据えた事業計画は。

**答** 市内中小企業の資金繰りを支援する融資制度の創設、2度にわたるプレミアム商品券事業への支援のほか、給付金事業の実施など、切れ目のない支援に努めてきた。今後、厳しい経済情勢の中で、資金融資制度は新年度も継続する。感染防止策、経済支援策は、ウイズコロナを意識し、

補正対応しながら、必要な部分に、適時的、確然的な対応をしていく。



名寄高校駅設置事業は、高校魅力化に大きく前進



バランスのとれた財政運営を

市民ネット 倉澤宏 委員

新型コロナウイルス対策について

**問** これまでの対策については経済対策や公共施設の設備などの整備が主であったが、今後において活動の制限が大きい高齢者等に対する支援の考えは。

**答** 心身共に健康に生活が送れるよう今後は感染予防も含め介護予防、フレイル予防について可能な限り対策を取っていきたい。

指定管理者制度について

**問** 指定管理施設の選定の考え方について。

**答** 指定管理者制度がすべての公の施設で有効とは考えていない。施設の目的や特性、サービスの向上について適宜検討を行い、直営か指定管理若しくは公民連携の手法かを判断し、より質の高いサービスを目指す。

**問** 指定管理料が大幅に増額した施設もあるが他の民間事業者とのバランスについて。

**答** 指定管理施設と民間施設とのバランスについてかけ離れているところもあるので、様々な観点から不断の見直しを図っていく。

普通建設事業について

**問** 令和3年度予算において普通建設事業が過去5年で最少となったが、事業量の確保について。

**答** 令和4年度に保育所整備や温泉改修が予定される。新年度力ギになるのが土木工事となる。年度明け以降の交付金の内示状況によって事業量が左右されるため、状況を、見極めながら内部で検討をしていく。



指定管理施設としたが管理者選定が進んでいない総合福祉センター

# 総務文教常任委員会活動報告

## 第1回委員会報告

1月26日に委員会を開催し、総合政策部から移住促進事業の令和2年度行政評価結果報告書事務事業の点検、物流拠点化構想の進捗状況、信用中央金庫「SBCふるさと応援団」の採択についての説明を受け、質疑を行いました。

総務部から情報伝達手段の充実、防災行政無線のデジタル化、バス路線維持・確保の令和2年度行政評価結果報告書事務事業の点検、町内会運営に関するアンケート調査について説明を受け、質疑を行いました。

## 第2回委員会報告

2月9日に委員会を開催し、名寄市立大学から実習実施状況、就職内定状況、入学共通テスト、コロナ禍における学生支援、一般選抜入試志願状況について説明を受け、質疑を行いました。

総合政策部から名寄市強靱化計画の改定、日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律等の一部改正、ジュニアオリンピックカップ

2021全日本ジュニアスキー選手権大会の開催補正予算についての説明を受け、質疑を行いました。

総務部から今後の広報誌の取り扱い、名寄市個別施設計画の概要、補正予算の概要について説明を受け、審議を行いました。



コロナ禍で就職内定率 90.6%  
(2月1日現在)

## 所管事務調査事項

第1回委員会を開催し、事務調査事項「公共交通の課題について」名寄市地域公共交通網形成計画の具体的な進捗状況と実効性について資料を求めました。利用者減少、費用の増大という状況と、路線変更と路線バス以外の検討が必要との説明を受けました。

第2回委員会では、名寄市

地域公共交通網形成計画の基本方針、①持続可能な公共交通サービスの提供、②ICT活用による公共交通サービスの拡充、③交通空白地における地域の足の確保、④自動車利用脱却に向けた安全・安心な移動の実現に向けた施策などの実施状況について説明を受け、審議を行いました。第3回委員会では、調査研究に向け、具体的な進め方や取り組み方を検討しました。第4回委員会では、コミュニティバス、下多寄・御料線デマンドバス、公共交通空白地を中心に、高齢者をはじめとする市民が、将来にわたり安心して移動できる地域の足の確保について具体的に調査研究を進めることを確認しました。



将来も安心して移動できる地域の足の確保

## 議員会新年研修会

議員会新年研修会を名寄市立大学の野村陽子学長をお招きして行いました。学長はこれまでの経験（厚労省看護課長、京都橘大学・岩手医科大学教員など）から、名寄市立大学の特徴を、学生の質が良く、市民との連携・協力関係が良好であるが、課題は教育の質向上の仕組みが弱いと分析するほか、将来構想について説明されました。

「中期実施計画では、大学院設置の検討を進めます。設置の理由としては、魅力ある大学、質の高い教員確保、研究基盤確立などがあります。公立大学で大学院を設置していない大学は、9・7%であり、さらに在学生への調査では、2割の学生から当大学院に進学したいとの回答がありました。」などの説明があり、説得力のある講演をいただきました。



大学の将来構想について理解を深める

# 市民福祉常任委員会活動報告

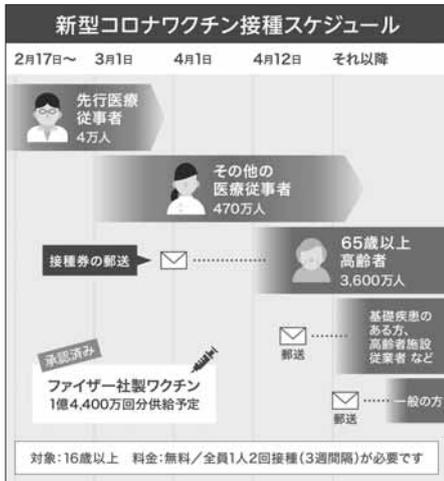
## 空き家対策

1月19日の第1回委員会では、計画期間や危険家屋の除却費用の一部支援など、第2次名寄市空家等対策計画の内容について説明を受け、質疑を行いました。

## 新型コロナウイルス感染症対策

第1回委員会では、福祉・医療機関での検査に対する支援などについて説明を受け、質疑を行いました。

2月9日の第2回委員会では、「市内の事業者を対象に『新型コロナウイルスに向けた勉強会』を2月17日に開催する。本市の感染症対策本部内に『ワクチン接種対策チー



コロナワクチン接種が近づいてきました

ム』を設置するとともに、ワクチン接種は上川北部医師会の協力をいただき対応する。接種開始時期は、ワクチンの配送時期および量が決まっておらず、現在未定だが、名寄地区の接種場所は名寄市民文化センター、風連地区はふうれん健康センターまたは風連児童クラブなどの公共施設で検討しており、智恵文地区は検討中である。」との説明を受け、質疑を行いました。

第5回委員会では、新型コロナウイルス感染症検査費用等補助事業への申請状況などについて説明を受け、質疑を行いました。

新型コロナウイルス感染症検査費用等補助事業への申請状況などについて説明を受け、質疑を行いました。

## 名寄市介護保険条例の一部改正

第1回定例会議案第2号「名寄市介護保険条例の一部改正について」は本委員会に付託され、2月25日の第3回委員会、3月4日の第4回委



期待される第8期計画

## 委員会のテーマ

第2回委員会では、現在までの進捗状況を確認するほか、令和2年10月実施の市民アンケートで出された、所管に関わる意見について、4月中旬までに整理することを確認しています。

## 林活議連研修会

名寄市議会林活議連では、1月27日、上川総合振興局産業振興部の五十嵐孝史林務課長を講師に招き、「北海道の森林の現況と課題について」をテーマに研修会を開催しました。

講演では、北海道の所有者別の森林面積で、国有林が55%、私有林が28%を占めるとともに、森林の蓄積で、人工林が全体の30%を占めている現状について説明があったほか、伐採期を迎えた大径材の利用に向けては課題も多いが、資源の循環利用について、積極的に取り組んでいただきたいことも話されました。質疑応答では、活発な意見交換が行われ、有意義な研修会となりました。



北海道の森林の現況と課題について学ぶ

# 経済建設常任委員会活動報告

## 経営維持支援給付金

1月19日に第1回委員会を開催し、経済部から新型コロナウイルスに係る追加経済対策の内容について報告を受けました。今回の追加経済対策は新型コロナウイルス感染症の長期化により、特に大きな影響を受けている市内の飲食業、バス・タクシー・運送代行業、宿泊業を対象とし、令和2年11月から令和3年1月のいずれかの月の売り上げが、前年同月比で30%以上減少している事業者の経営を支援するもので、飲食業は1店舗30万円、バス・タクシー業は事業所ごとに50万円+保有車両台数に応じた加算、運送代行



コロナ禍の長期化により様々な業種に影響が及んでいる

業は事業所ごとに35万円、宿泊業は宿泊施設ごとに50万円+客室数×2万円+上下水道料金相当額をそれぞれ申請内容に応じ、給付するとの説明を受けました。

## 第2・3回委員会報告

2月10日の第2回委員会では、経済部から第3次食育推進計画に係るアンケート調査結果について、新型コロナウイルス感染症に伴う国の農業支援について、ピヤシリスキーマの入込実績について、建設水道部からは令和2年度道路除排雪事業について、それぞれ報告を受け、質疑を行いました。

2月18日の第3回委員会では、建設水道部から瑞生団地整備事業基本設計の概要について報告があり、建て替え場所を西町団地跡地とし、6棟16戸を令和4年度から令和6年度の期間で整備する計画である旨の説明を受けました。また名寄市水道事業経営戦略および名寄市下水道事業経営戦略の改定素案について、報告を受けました。

## 所管事項に関する意見交換

第3回委員会および第4回委員会において、委員会所管

事項にかかわり、委員間で意見交換を行い、経済部所管事項では新型コロナウイルスにかかわる経済対策、株名寄振興公社について、中心市街地活性化について、建設水道部所管事項では除排雪について、道路整備についてをテーマに意見を出し合い、情報共有を図るとともに、今後の活動に活かしていくことを確認しました。

## 売上減少事業者支援給付金

3月4日の第5回委員会では、経済部から新型コロナウイルスに係る追加経済対策として、「名寄市売上減少事業者支援給付金」の概要について報告があり、業種にかかわらず売り上げが月30%減少または2カ月連続で20%減少した事業者を対象とし、交付額は上限20万円として減少幅に応じた給付をする旨の説明を受けました。



瑞生団地の基本設計について報告を受けた

## 市民の声を市政に生かします!! 議会を傍聴しませんか!

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、また臨時会も必要に応じて開催されます。

- ◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。
- ◇傍聴する際には、新型コロナウイルス感染症対策として、受付時の検温やマスクの着用をはじめ、間隔を空けて着席していただくなどのご協力をお願いします。
- ◇本会議の開催日など、詳しくは議会事務局（☎01654-3-2111）へお問い合わせください。



# ☆ き ぽ う ☆



## 防災について

みやこし とよみ  
宮越 豊美

現在、私は旭栄区町内会に居住し、民生委員児童委員として、また地域の防災マスターとして活動させていただいております。名寄市は、現在までこれといった大きな災害もなく、比較的安全な地域であると思います。しかしながら「災害は忘れたころにやって来る」という言葉があるとおり、いつ発生するかわかりません。したがって、平時における準備が大切になると思います。特に当町内会は名寄川に近接し、洪水時にいち早く避難しなくてはならない地区でありますので、当町内会では、今年改めて全世帯を対象に災害時の避難訓練を実施し、実行動をもって住民に行動要領を把握させたいと考えています。いくら言葉や文章を配布しても、住民一人ひとりの行動を統制することは難しいと思います。実行動をもって、反復して訓練を実施し、町内会の安心安全に尽力するとともに、地域の防災、減災の一助になれば幸いです。



## 名寄と共に

やがわ ふうま  
谷川 楓馬

私は地元の自動車販売会社に入社して、4年目に入ります。私は名寄で生まれ育ちました。一旦専門学校に入学するため名寄を離れましたが、友達がいって住み心地のいい名寄が恋しくなり、迷わず名寄店を希望しました。今は毎日忙しく整備士として働いています。

仕事は大変なこともありますが、お客様に満足していただいた時はとてもとても嬉しく、この仕事を選んでよかったと思います。

コロナ禍で、店舗社員との交流イベントがなくなり楽しみが減りました。ですが、春から新入社員が入ることが決まり、私にも後輩ができることになり、身の引き締まる思いですが、一緒に仕事をできることは楽しみでもあります。

これからも名寄の皆さまに愛される整備士になるため、精進してまいります。

## 表紙の写真は「名寄ミニバスケットボール少年団」です。

名寄ミニバスケットボール少年団は、市内の小学2～6年生の子どもたちで活動しています。男子は念願の全道大会出場を果たし、女子も着実に力がついてきました。

子どもたちは、バスケットボールの基礎技術および大会に向けての実戦練習をするほか、競技を通じて礼儀を身につけるとともに、互いに切磋琢磨し、男子は全道大会で1勝、女子は全道大会出場を目標に日々練習に励んでいます。



## 編集後記

令和3年第1回定例会が、予定通りの日程を終え、閉会しました。昨年が新型コロナウイルス感染症拡大予防を最優先し、一部書面での質問も取り入れながらの開催であったことを振り返ると、平常であることのあるありがたさを痛感しています

▼コロナ禍の状況は、感染者数に一喜一憂。大きく安心できるまでには至っていませんが、みんなの心掛けで「新しい日常」が少しずつ定着してきていると感じます▼厳しかったこの地の冬もようやく雪解けの時を迎え、ハウスの鉄骨の下、除雪機で雪を飛ばす情景に、春近しが伝わってきます▼本州からは桜の便りも届き、甲子園には二年ぶりに球児の躍動する姿が戻ってきました▼いつ何時、どんな場面でも、夢をあきらめずひたむきに努力する姿を心に焼き付け、新年度への準備をしたいと思えます。

(真)

